

# 果樹カメムシ類情報第4号

平成29年10月2日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病虫害防除室

チャバネアオカメムシとツヤアオカメムシが増えています。

## 1 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺状況

(1) 新城市に設置した予察灯では、9月下旬まで果樹カメムシ類の誘殺数は少ない状況が続いていますが、豊橋市ではチャバネアオカメムシとツヤアオカメムシの誘殺数が9月第5半旬に急増しました(図1、2)。

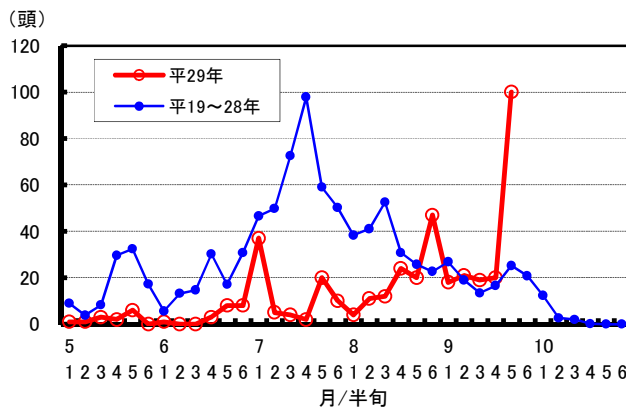


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況(豊橋)

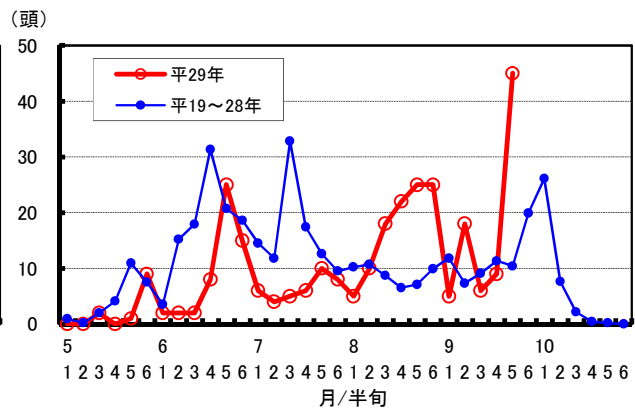


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺状況(豊橋)

## 2 今後の発生予測と対応

- (1) 8月中旬のヒノキ球果の口針鞘数調査において、豊橋市嵩山町、蒲郡市清田町、岡崎市明見町では9月下旬に新世代成虫の果樹園への飛来が始まると予測され、すでに多くの地域で飛来が始まっているか、まもなく始まると推定されます。
- (2) 本年はヒノキ球果の着生量がやや多いため、10月になって平年より多くの果樹カメムシ類が果樹園に飛来するおそれがあります。
- (3) 中山間部に近い果樹園や例年飛来量が多いほ場では、発生状況に十分に注意し、飛来を確認したら表を参考に防除しましょう。

表 かき及びかんきつのカメムシ類に対する主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	希釈倍数	使用回数	IRACコード
かき	アドマイヤー水和剤	収穫7日前まで	1000倍	3回以内	4A
	キラップフロアブル	収穫7日前まで	2000倍	2回以内	2(B)
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫3日前まで	2000倍	3回以内	4A
	テルスターフロアブル	収穫3日前まで	3000~6000倍	2回以内	3(A)
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内	4A
かんきつ	MR. ジョーカー水和剤	収穫14日前まで	2000倍	2回以内	3(A)
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫14日前まで	2000倍	3回以内	4A
	ダントツ水溶剤	収穫前日まで	2000~4000倍	3回以内	4A
	テルスターフロアブル	収穫前日まで	3000~6000倍	3回以内	3(A)
	スタークル/アルバリン 顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	3回以内	4A

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、[http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism\\_irac.pdf](http://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2017/mechanism_irac.pdf)を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。